

便器洗浄ユニット施工説明書

ウォシュレット専用（4.8L 密結便器用）

下記便器への取付方法については、専用の施工説明書をご確認ください。

- ・住宅用システムトイレ(レストパルなど)→住宅用システムトイレの施工説明書
- ・コンパクト多機能トイレパック→コンパクト多機能トイレパックの施工説明書
- ・壁掛大便器セット・フラッシュタンク式、アームレスト付壁掛大便器トイレパック→ライニング収納形フラッシュタンクの施工説明書

重要

施工タイプ **3** 種類から必ず 1 つ選択してください。

- 「施工の流れ」（2 ページ）を必ずご確認ください。

機種によって、便器洗浄ユニットのプラグ接続口の位置が異なります。

- 施工手順 4:「ウォシュレットと便器洗浄ユニットを 配線・接続する」を必ずご確認ください。

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

- 施工手順 5:「便器洗浄モードを設定する」を必ずご確認ください。



の場合

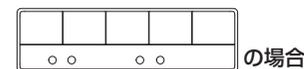
の場合

の場合

ウォシュレットとの
組み合わせ設定が必要です。

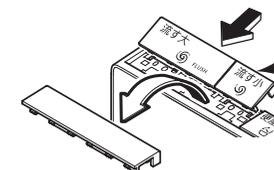
※組み合わせ設定については、便器洗浄リモコン
取付説明書をご確認ください。

- 設定しないと便器洗浄できません。



の場合

リモコンには流すボタンが取り付け
いていません。必ず取り付けてください。



流すボタン
(ウォシュレット専用
便器洗浄ユニットに同梱)

TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>



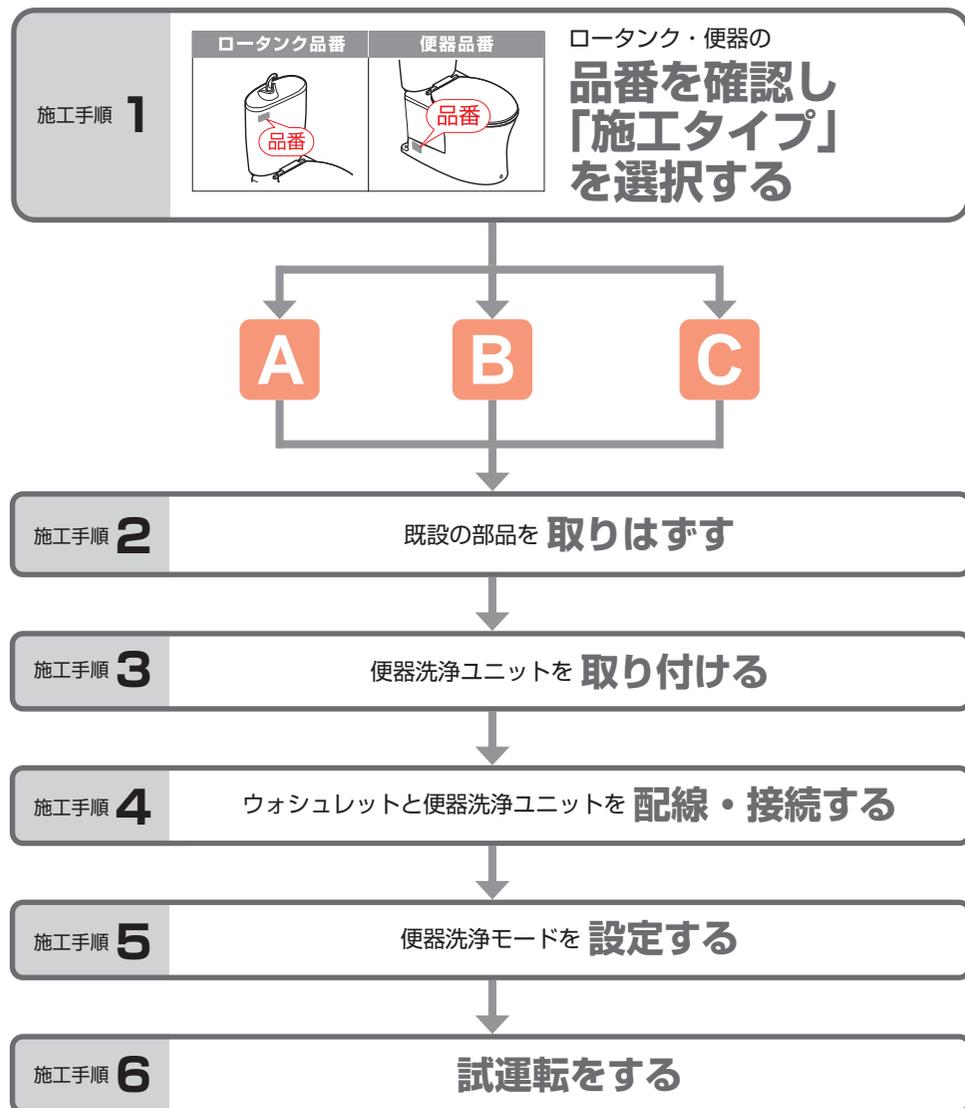
メーカー管理用です。

2025.3.11
D07L46

施工説明書内のイラストなどは、実際の商品と異なる場合があります。

施工の流れ

ロータンクによって、施工タイプは3種類に分かれます。
施工タイプに合った施工方法と部品で、正しく施工してください。



施工手順 1 「施工タイプ」を選択する

ロータンク・便器一覧表

ロータンク品番	便器品番	施工タイプ
SH596B 系 SH597B 系 SH598B 系 SH599B 系 SH400B 系 SH401B 系 SH332B 系 SH333B 系 SH334B 系 SH335B 系 SH330B 系 SH331B 系 SH320B 系 SH321B 系 SH230B 系 SH231B 系 SH232B 系 SH233B 系 SH220B 系 SH221B 系 SH214BA 系 SH215BA 系	CS597 系 CS400B 系 CS330 系 CS320 系 CS325 系 CS232B 系 CS230 系 CS220 系 CS215 系	A (P.4 へ)
SH214BAJ 系 SH215BAJ 系	CS215 系	B (P.5 へ)
SP495B 系 SP496B 系 SP498B 系	CS497 系 CS498B 系	C (P.5 へ)

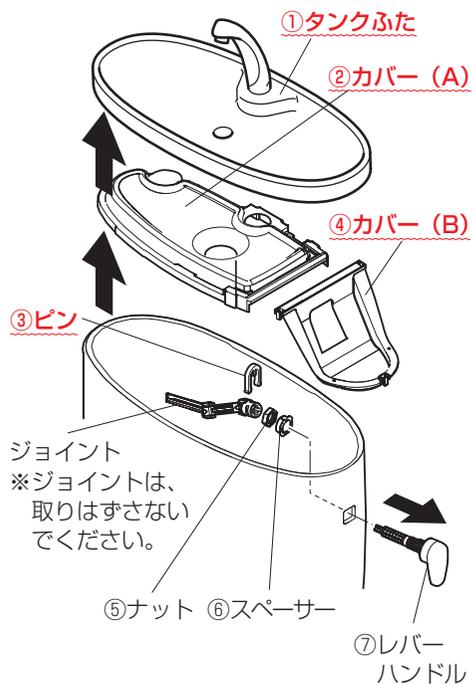
下記便器への取付方法については、専用の施工説明書をご確認ください。
 ・住宅用システムトイレ（レストパルなど）→住宅用システムトイレの施工説明書
 ・コンパクト多機能トイレパック→コンパクト多機能トイレパックの施工説明書
 ・壁掛大便器セット・フラッシュタンク式、アームレスト付壁掛大便器トイレパック→ライニング収納形フラッシュタンクの施工説明書

施工タイプ **A** のとき

- 1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2 部品を取りはずす (下記参照)

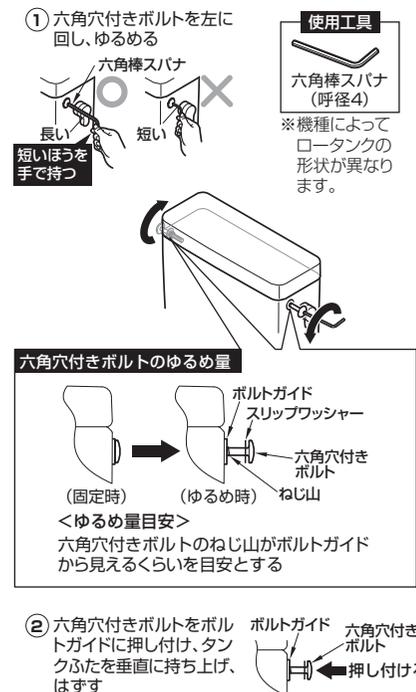
【ご注意】
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～④の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



<タンクふた固定仕様の場合>

タンクふたを取りはずす前に六角穴付きボルトをゆるめ、上ふた固定板のロックをはずす必要があります。



便器洗浄ユニットを取り付ける

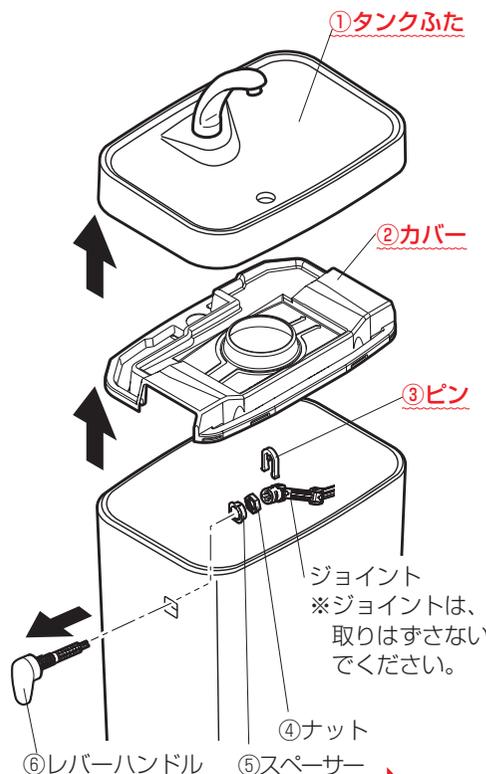
施工タイプ **A** は P.6 へ

施工タイプ **B** のとき

- 1 止水栓を閉めて、ロータンク内の水を抜く
- 2 部品を取りはずす (下記参照)

【ご注意】
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～③の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。



便器洗浄ユニットを取り付ける

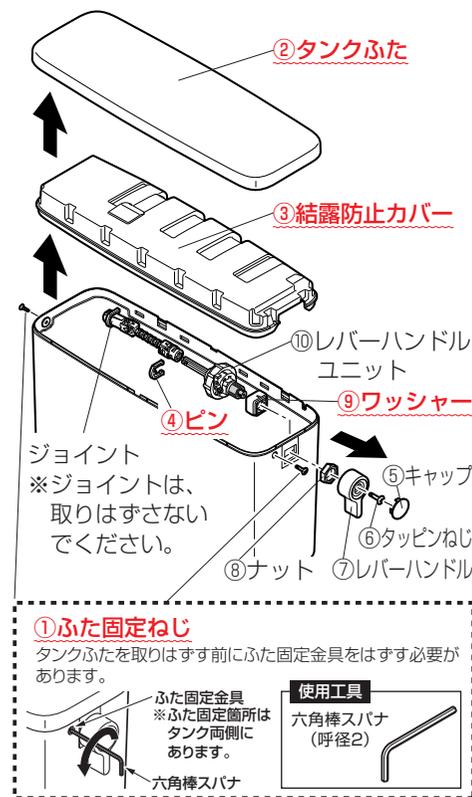
施工タイプ **B** は P.10 へ

施工タイプ **C** のとき

- 1 止水栓を閉める
- 2 部品を取りはずし (下記参照)、ロータンク内の水を抜く

【ご注意】
機種によって、ロータンクと部品の形状が異なります。

●①～④、⑨の部品は、取り付け時に使用しますので、捨てないでください。

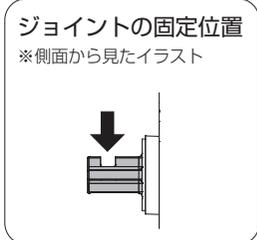
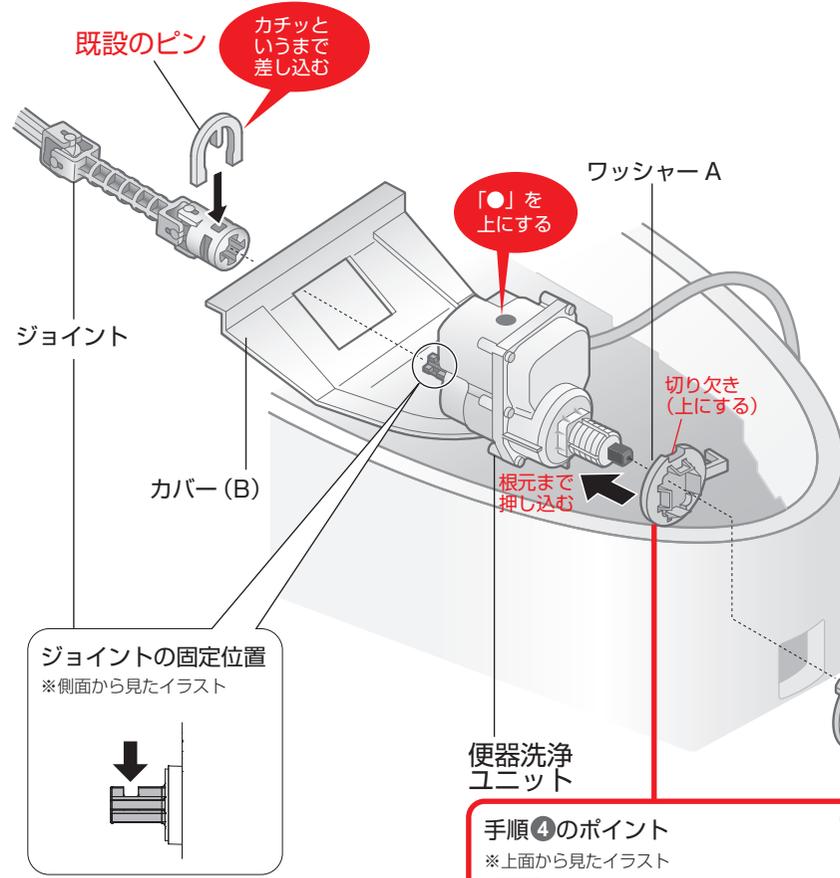


便器洗浄ユニットを取り付ける

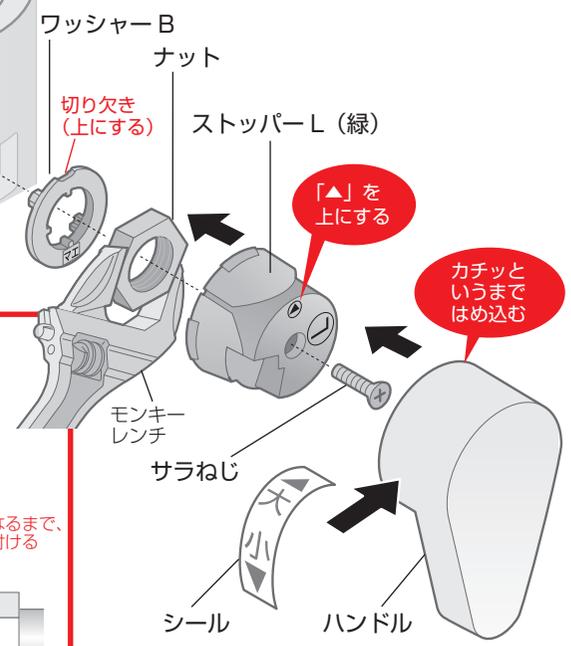
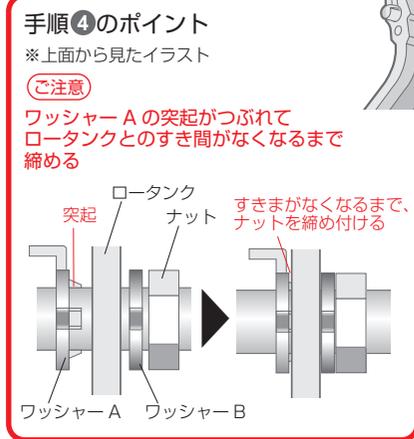
施工タイプ **C** は P.14 へ

1 部品を選択する

使用部品

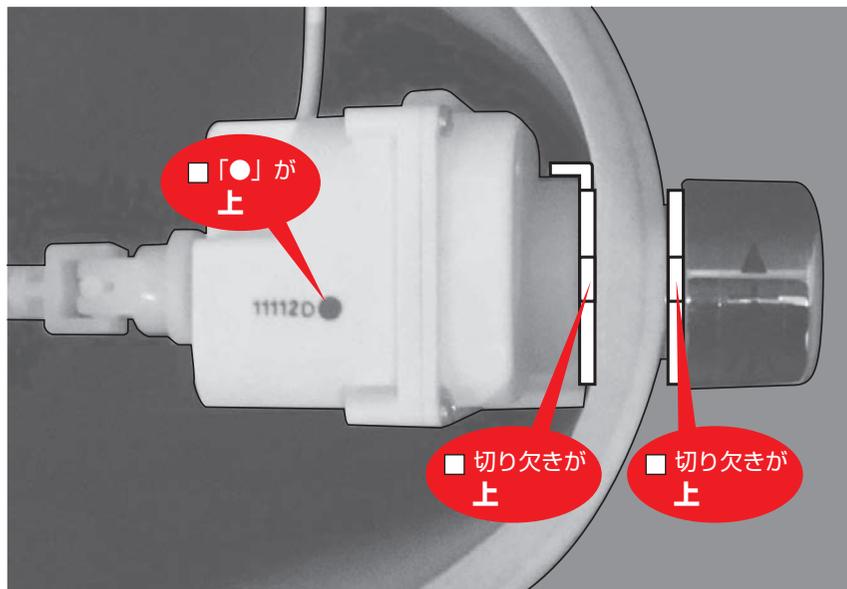


- 2** ワッシャー A をはめ込む
- 3** 便器洗浄ユニットをロータンクに 差し込む
- 4** ワッシャー B をはめ、 ナットをモンキーレンチで締め付ける
- 5** カバー (B) とジョイントをはめ、 既設のピンで固定する
- 6** ストッパー L (緑) をサラねじで固定し、 ハンドルを取り付け、シールを 貼り付ける



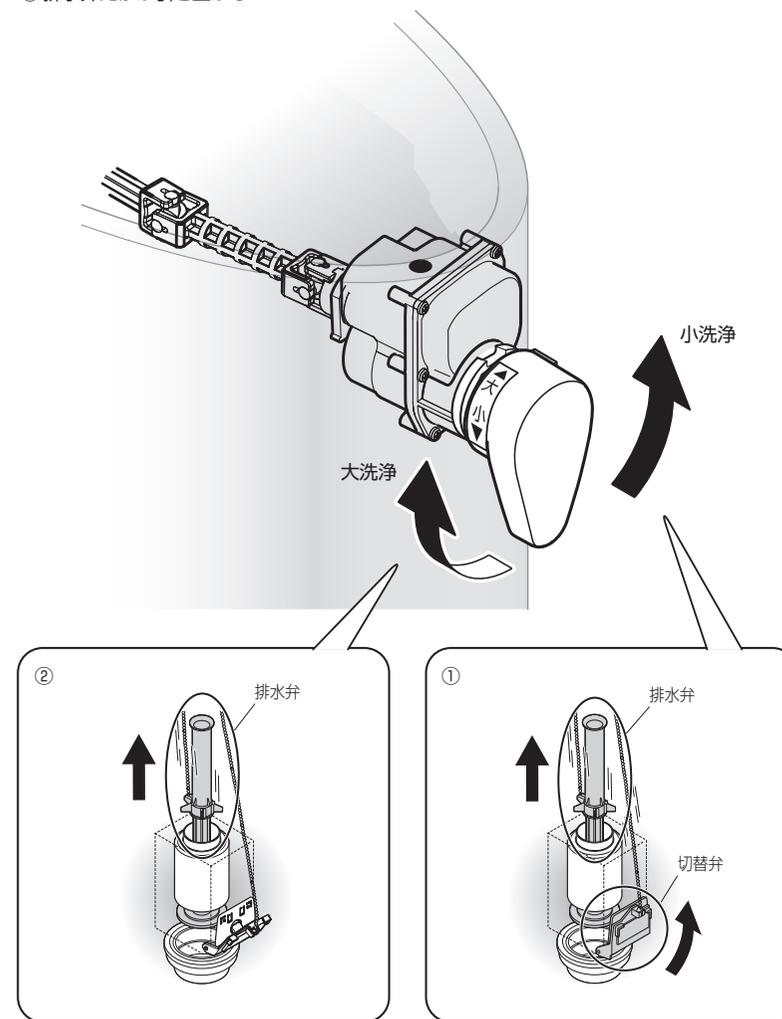
7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる



1 部品を選択する

使用部品

ワッシャーA ワッシャーB ナット
ハンドル シール
サラねじ (ストッパー用φ3×10) ストッパーL(緑)
サンドペーパー コードフック(7個)

既設部品

既設のピン
既設のものを使用します。捨てないでください。

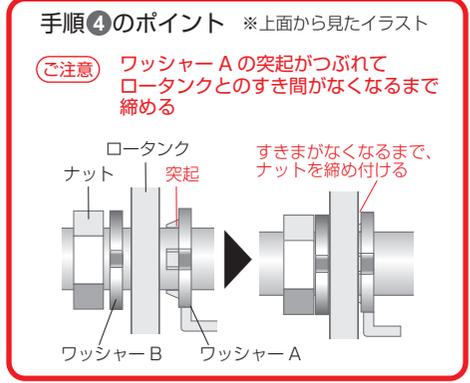
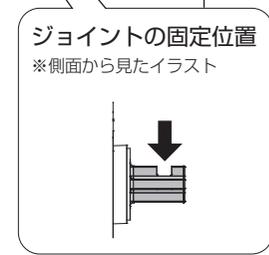
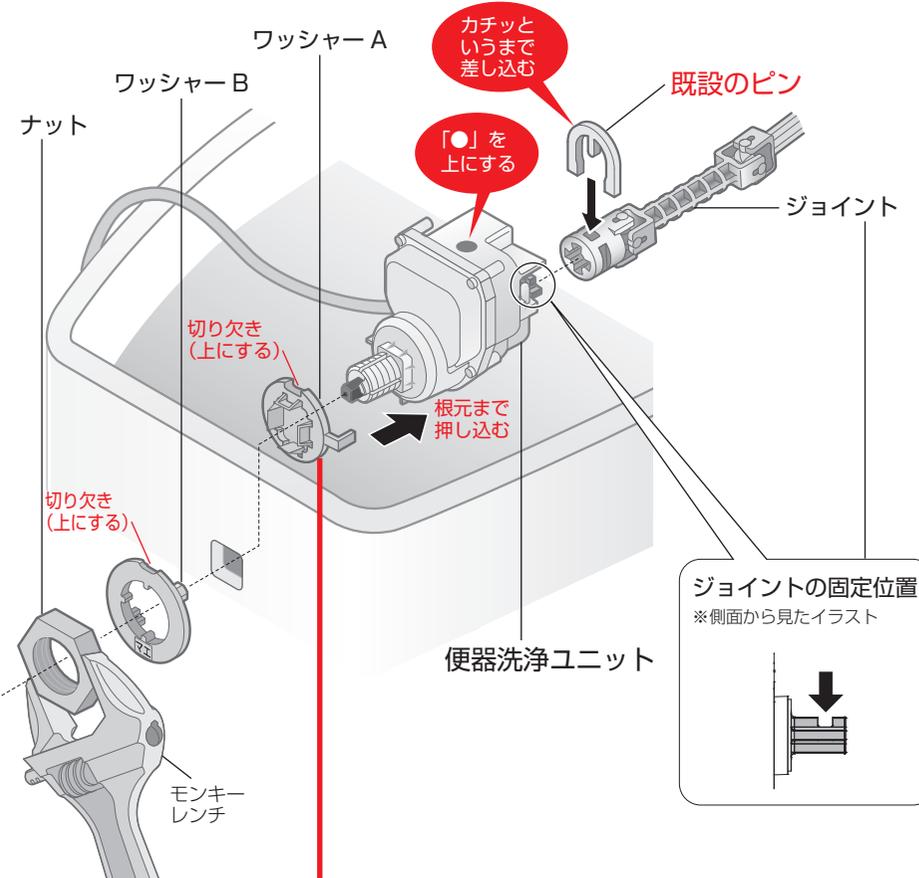
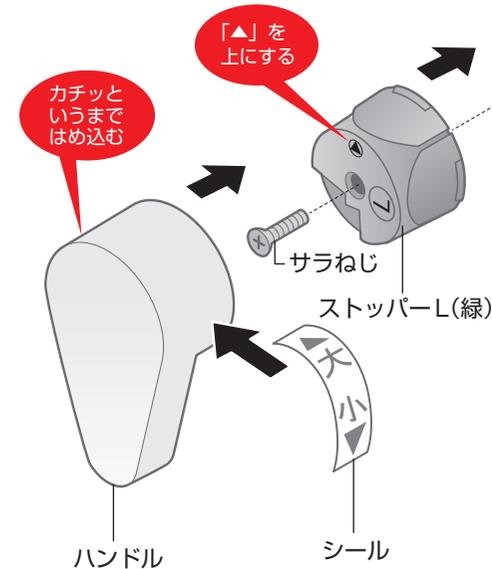
2 ワッシャー A をはめ込む

3 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む

4 ワッシャー B をはめ、ナットをモンキーレンチで締め付ける

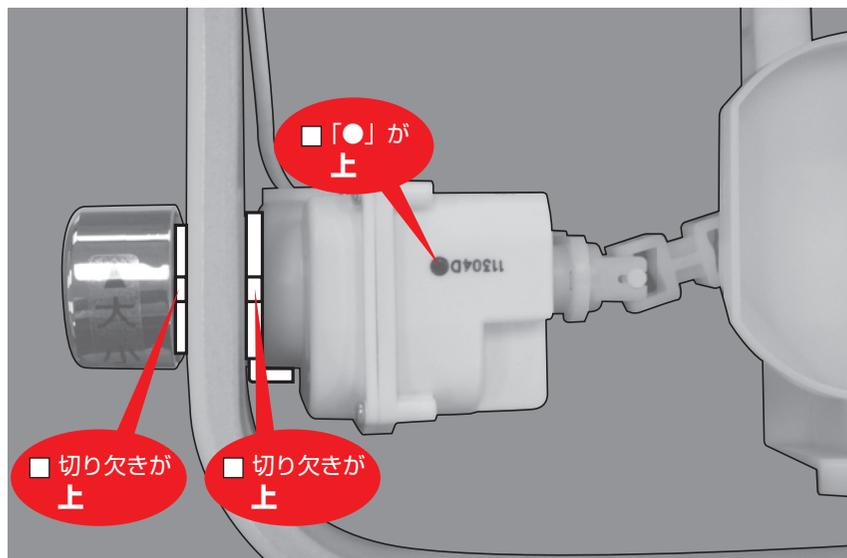
5 ジョイントをはめ、既設のピンで固定する

6 ストッパーL(緑)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける



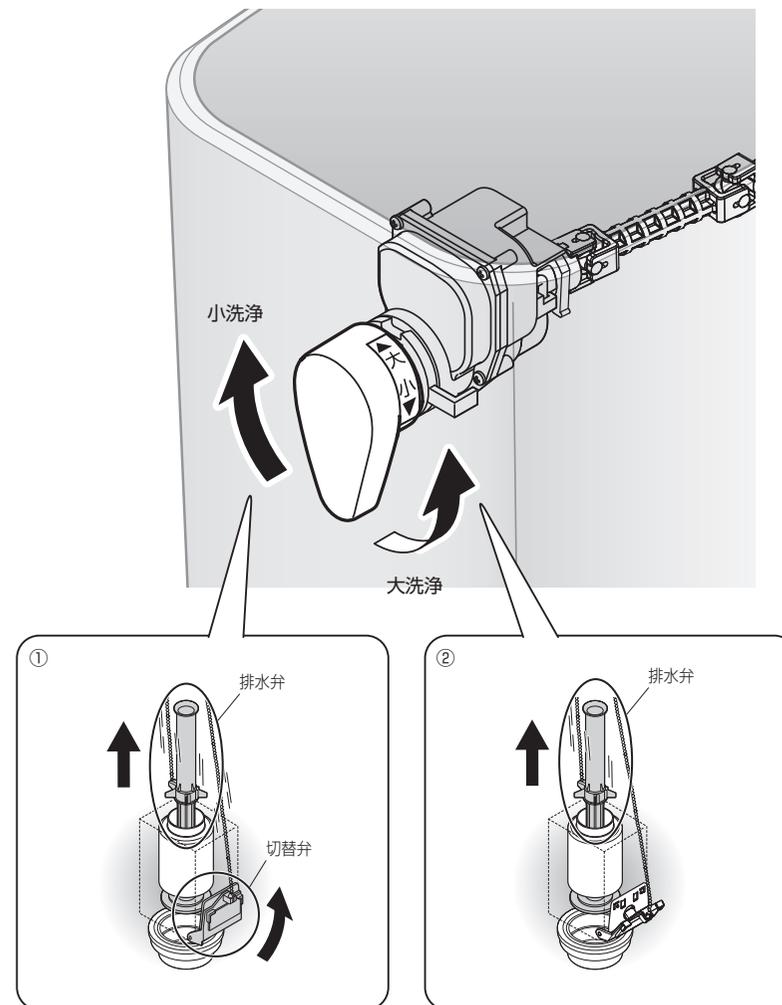
7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 ハンドルを動かして確認する

- ① 排水弁と切替弁が引き上がる
- ② 排水弁だけが引き上がる



1 部品を選択する

使用部品

		
ナット	ハンドル	シール
		
サラねじ (ストッパー用φ3×10)	ストッパー-L(緑)	
		
サンドペーパー	コードフック (7個)	

使用しない部品

	
ワッシャー-A	ワッシャー-B

既設部品

	
既設のピン	既設のワッシャー

既設のものを使用します。
捨てないでください。

2 既設のワッシャーをはめ込む

3 便器洗浄ユニットをロータンクに差し込む

4 ナットをモンキーレンチで締め付ける

5 ジョイントをはめ、既設のピンで固定する

6 ストッパー-L(緑)をサラねじで固定し、ハンドルを取り付け、シールを貼り付ける

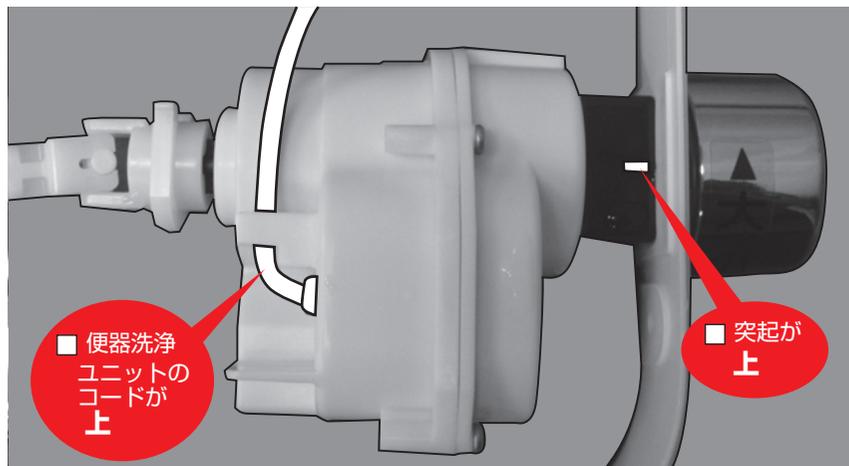
ジョイントの固定位置
※上面から見たイラスト

手順4のポイント
※上面から見たイラスト
【注意】 ロータンクとのすき間がなくなるまで締める
すきまがなくなるまで、ナットを締め付ける

取り付け状態を確認する
次ページへ

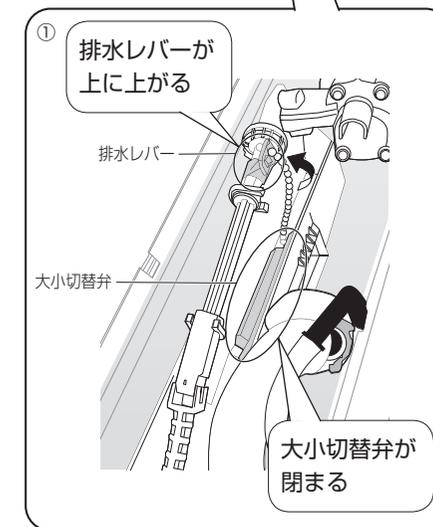
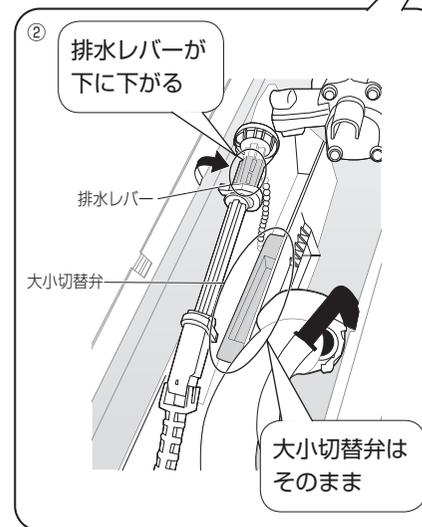
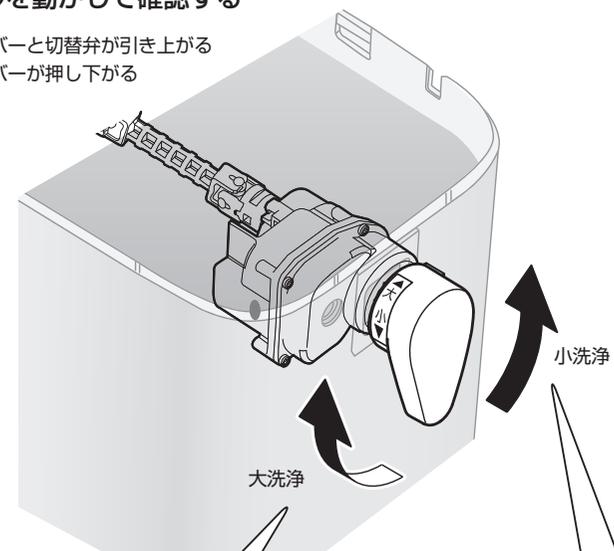
7 便器洗浄ユニットの取り付け状態を確認する

・下記チェック項目を確認し、□にチェックを行ってください。



8 ハンドルを動かして確認する

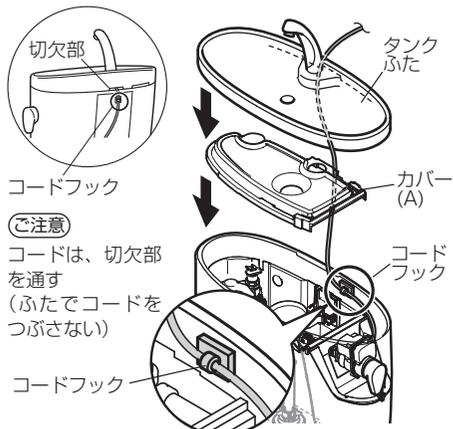
- ① 排水レバーと切替弁が引き上がる
- ② 排水レバーが押し下がる



施工手順 4 ウォシュレットと便器洗浄ユニットを配線・接続する

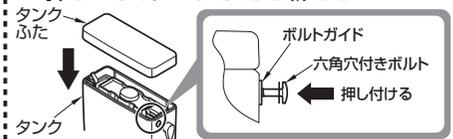
コードを配線する

施工タイプ A



＜タンクふた固定仕様の場合＞

① 六角穴付きボルトをボルトガイドに押しつけ、タンクふたを載せる



② 六角穴付きボルトを締め付け、タンクふたに固定する



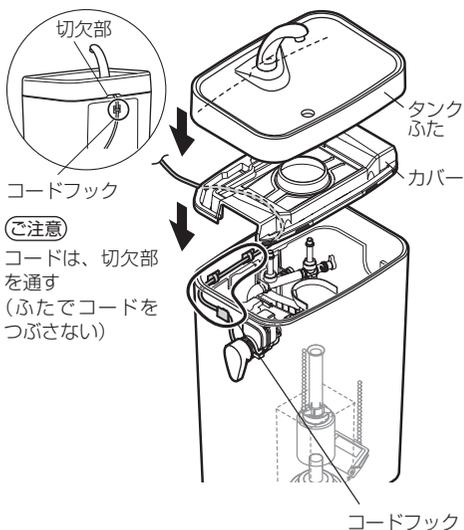
△注意

ねじの締め込み過ぎに注意する
必ず実行 締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

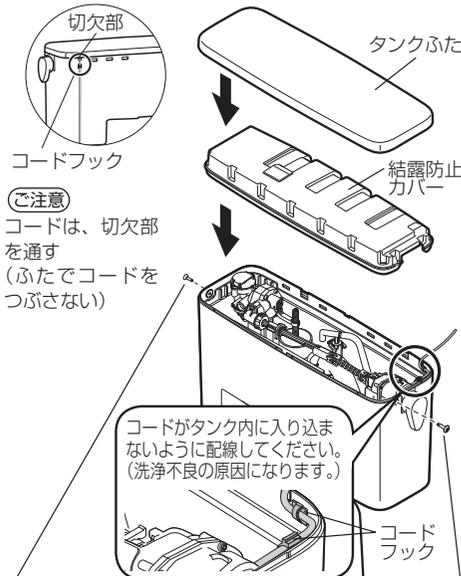
注意 ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがススルおそれがあります。

- 1 コードフックの貼り付け位置を決める(水がかからない位置にする)
- 2 ①で決めた貼り付け位置の表面をサンドペーパーでこする(こすった後の粉をとる)
- 3 コードフックを貼り付ける
- 4 コードを配線する
- 5 カバー(結露防止カバー)、タンクふたを取り付ける

施工タイプ B

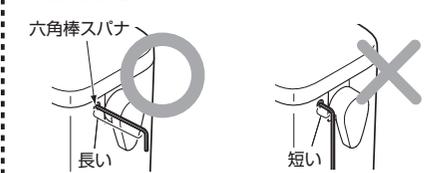


施工タイプ C



ふた固定ねじ

① ふた固定金具を締め付け、タンクふたを固定する



△注意

ねじの締め込み過ぎに注意する
必ず実行 締め込み過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注意 ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがススルおそれがあります。

プラグを接続する

6 ウォシュレット本体を施工する(ウォシュレット本体の施工説明書参照)

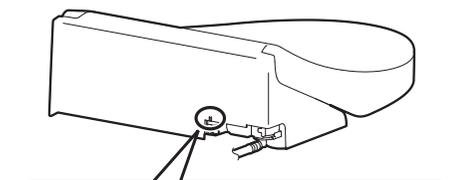
重要 手順7以降は、ウォシュレット本体施工後に行ってください。

7 便器洗浄リモコンを取り付ける(便器洗浄リモコン取付説明書参照)

重要 ウォシュレットとの「組み合わせ設定」が必要な便器洗浄リモコンの場合は、必ず設定してください。(設定しないとリモコンで便器洗浄できません。)

8 プラグ(便器洗浄ユニット)を接続する
コードは、ウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。(機種によって、製品の形状が異なります。)

プラグ接続口を確認してください。(機種によって、接続方法が異なります。)



ウォシュレット本体の背面の凸形状を確認



凸形状がある場合 凸形状がない場合

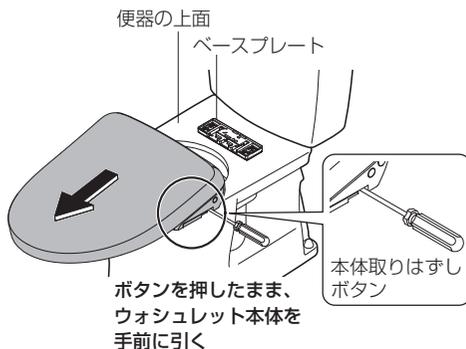
P.20へ P.22へ

施工手順 4 ウォシュレットと便器洗浄ユニットを配線・接続する

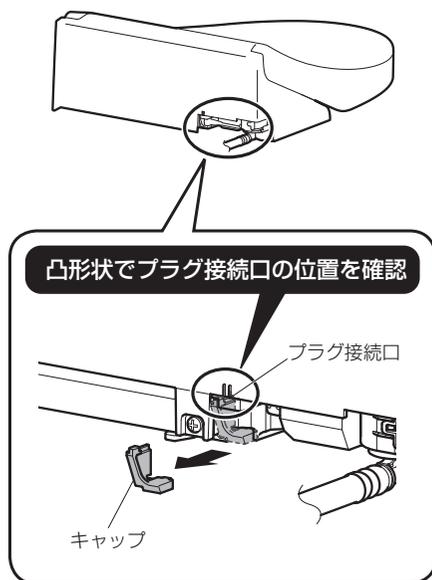
プラグを接続する

ウォシュレット本体の背面に凸形状がある場合

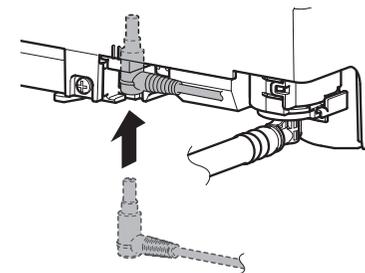
①ドライバーなどでボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く



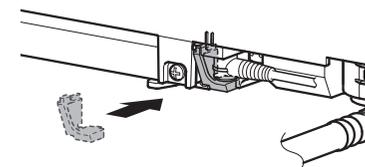
②ウォシュレット本体の背面にあるキャップを取りはずす



③プラグを根元まで確実に差し込む



④キャップを取り付ける



⑤ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

9 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
機種によって、設定方法が異なります。

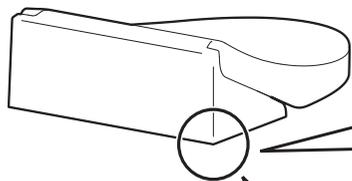
 •  の場合は P.24 へ /  の場合は P.26 へ

配線・接続する

プラグを接続する

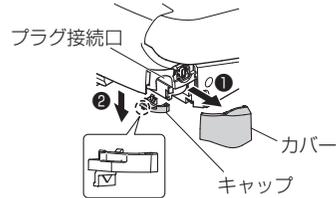
ウォシュレット本体の背面に凸形状がない場合

プラグ接続口が左にある場合

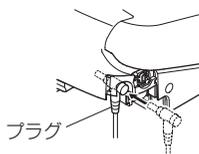


カバーがあるとき

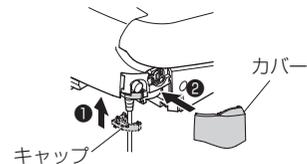
① カバーとキャップを取りはずす



② プラグを根元まで確実に差し込む

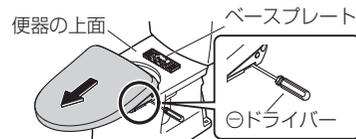


③ キャップとカバーを取り付ける



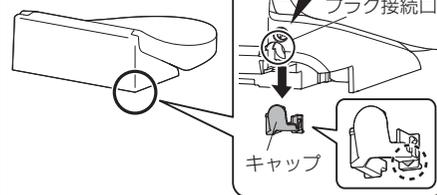
カバーがないとき

① ①ドライバーなどで本体取りはずしボタンを押し、そのままウォシュレット本体を手前に引く



ボタンを押し、そのまま、ウォシュレット本体を手前に引く

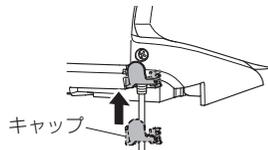
② ウォシュレット本体背面にあるキャップを取りはずす



③ プラグを根元まで確実に差し込む



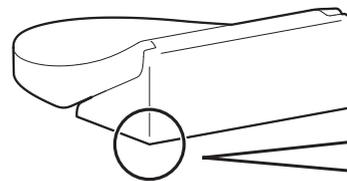
④ キャップを取り付ける



⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

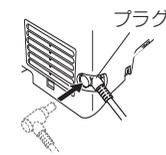
プラグ接続口が右にある場合



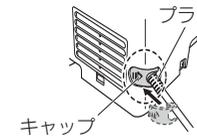
① キャップを取りはずす



② プラグを横向きに根元まで確実に差し込む



③ キャップを取り付ける



9 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む

必ず便器洗浄モードを設定してください
機種によって、設定方法が異なります。



施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合

ご注意
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な
 施工タイプ
A・C

施工タイプ
A・C

試運転をする
 P.30へ

設定が必要な
 施工タイプ
B

2 止 と ビデ を同時に 10 秒以上押す
 →リモコンまたは本体操作部のランプが全点滅します。

施工タイプ
B

3

〈 の場合〉

5 秒以上押す

もう一度

5 秒以上押す

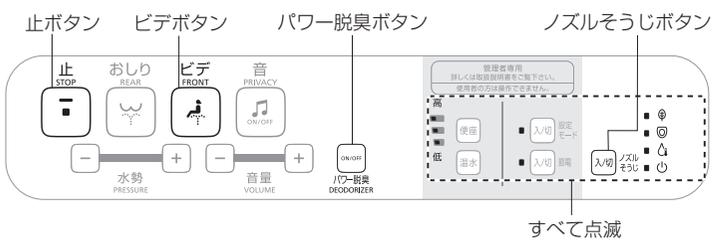
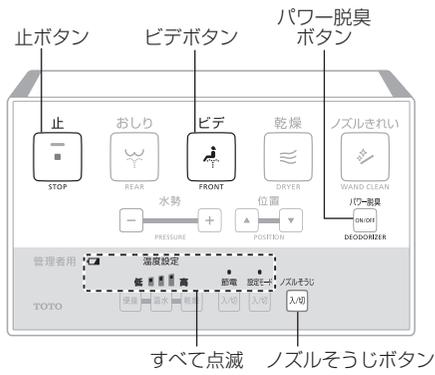
表示部
 <便座>
 2 回点滅

表示部
 <便座>
 3 回点滅

〈 の場合〉

表示部
 <便座>
 2 回点滅

表示部
 <便座>
 3 回点滅

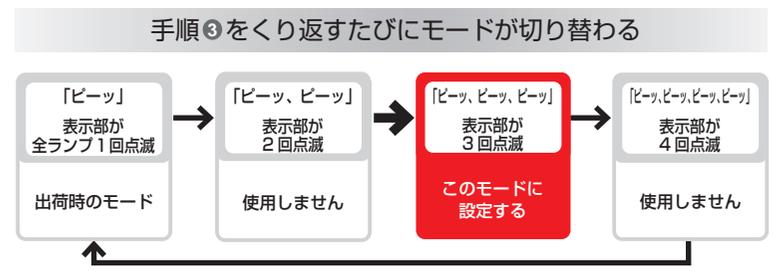


施工タイプ **B**

設定位置を確認する

4 ノズル押し 5 秒以上押す → (電子音が 3 回鳴ると同時に表示部 (便座) ランプが) 3 回点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。手順③に戻り、設定しなおしてください。



5 止 押す → 設定完了

試運転をする
 P.30へ

機種によっては、表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

施工手順 5 便器洗浄モードを**設定する** の場合

ご注意
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な施工タイプ **A・C**

施工タイプ **A・C**

試運転をする P.30へ

設定が必要な施工タイプ **B**

2  5回押す
 →「ピッ」という電子音が鳴り、
 <設定モード>※に入ります。
 <設定モード>中は、20秒以内に次のボタンを押してください。

施工タイプ **B**

3  →  →  の順に押す

表示部
 <便座>
 2回点滅

もう一度  5回押す
 →「ピッ」という電子音が鳴ります。
 →  →  の順に押す

表示部
 <便座>
 3回点滅



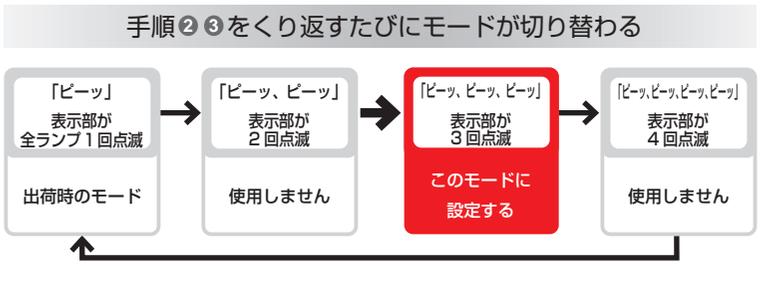
施工タイプ **B**

設定位置を確認する

4  5回押す → 「ピッ」という電子音が鳴ります。

5  →  →  の順に押す → (電子音が3回鳴ると同時に表示部(便座)ランプが3回点滅することを確認する)

電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
 手順**2**③に戻り、設定しなおしてください。



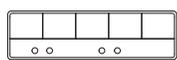
設定完了できなかった場合は、手順**2**からやり直してください。
 設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。
 ※電子音が鳴らなかった場合は、リモコンとウォシュレット本体の組み合わせ設定がされていない可能性があります。ウォシュレット本体の施工説明書を見て、組み合わせ設定を行ってください。

試運転をする P.30へ

機種によっては、表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

施工手順 5 便器洗浄モードを設定する

の場合



ご注意
 モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れた後に行ってください。
 (ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。)

1 ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込む
 →ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

設定が不要な
 施工タイプ
A・C

施工タイプ
A・C

試運転をする
 P.30へ

設定が必要な
 施工タイプ
B

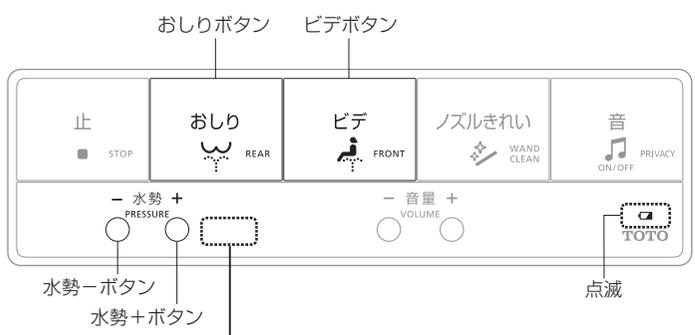
2 **ビデ** と **水勢 +** を同時に 10 秒以上押す
 →リモコンランプが点灯・点滅します。

施工タイプ
B

3 **おしり** → **ビデ** → **水勢 -** の順に押す
 →表示部 <便座> 2 回点滅

4 **ビデ** と **水勢 +** を同時に 10 秒以上押す
 →リモコンランプが点灯・点滅します。

5 **おしり** → **ビデ** → **水勢 -** の順に押す
 →表示部 <便座> 3 回点滅



確認 設定モードに入ったときのみ
 下記のようにランプが表示されます。(透過式)

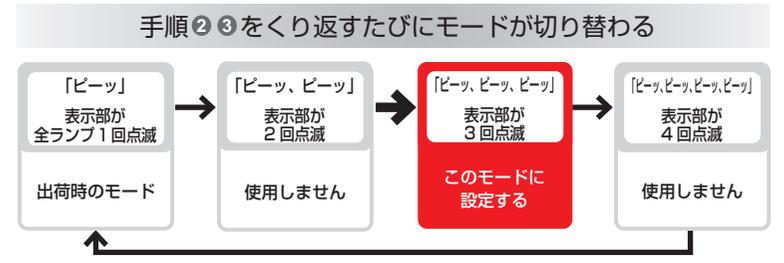
ビデ と **水勢 +** を同時に約10秒押した場合 **点灯**

施工タイプ **B**

設定位置を
 確認する

6 **ビデ** と **水勢 +** 10 秒以上押す
 →リモコンランプが点灯・点滅します。

7 **おしり** → **水勢 -** → **おしり** の順に押す
 (電子音が 3 回鳴ると同時に表示部 (便座) ランプが 3 回点滅することを確認する)
 電子音とランプの点滅が上記でなかった場合は、設定が正しくできていません。
 手順 **2** **3** に戻り、設定しなおしてください。



試運転をする
 P.30へ

機種によっては、表示部やボタンのレイアウトなどが異なります。

施工手順 6 試運転をする

施工全タイプ共通

ウォシュレットの電源プラグをコンセントに差し込んだ後、次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。

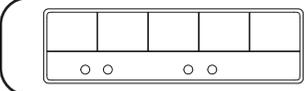


1 ロータンクの止水栓を開ける

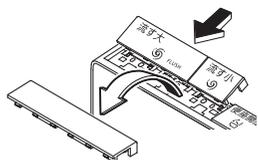


2 手で便器洗浄を確認する
ハンドルを「大側」・「小側」に回して、
便器洗浄を行うことを確認する



3  の場合

リモコンに流すボタンが取り付けられているか確認する
流すボタンの取付方法は流すボタン取付説明書を参照ください。



4 リモコンで便器洗浄を確認する
「流す」ボタンを押す、またはセンサーに手をかざして便器洗浄を行うことを確認する
※連続して操作すると作動しません。
約 10 秒たってからもう一度ボタンを押す、またはセンサーに手をかざしてください。

[流す(大)] → ハンドルが大側に回転する

[流す(小)] → ハンドルが小側に回転する

※  の場合、[流す(大)] のみです。

便器洗浄が正しく行われないときは「うまく動かないとき」(P.31) をご覧ください。

うまく動かないとき

洗浄が正しく行われないときは、まずこのページの処置方法を試してください。それでも直らないときは、もう一度「施工の流れ」(P.2) を最初から確認してください。

こんなときは	ご確認ください	処置方法	
作動しない	モーター音がしない	<p>＜  の場合 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行っていますか？ → 便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。 ● 便器洗浄ユニットのプラグが、ウォシュレットの接続口の根元まで確実に差し込まれていますか？ ● ウォシュレット本体の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？ 	<p>便器洗浄リモコンとウォシュレットとの組み合わせ設定を行う → 便器洗浄リモコン取付説明書をご確認ください。</p>
			プラグを根元まで確実に押し込み、キャップを取り付ける
			ウォシュレット本体の電源プラグをコンセントに差し込む
		<p>＜  の場合 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンに電池は入っていますか？ 	リモコンに電池を正しく入れる
流れない	モーター音はする	<ul style="list-style-type: none"> ● ストッパーの取付方向をまちがっていませんか？ 	ストッパーを正しく取り付ける
「大」「小」の動作が逆	<ul style="list-style-type: none"> ● モード設定がまちがっていませんか？ 	モードを正しく設定しなおす (施工手順 5: 「便器洗浄モードを設定する」参照)	

試運転が終わりましたら、ウォシュレット本体の施工説明書に従って試運転を行ってください。

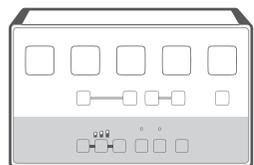
設備保護洗浄

24 時間以上便器洗浄されなかったときに、配管を保護するため自動で便器洗浄します。

お客様にご確認の上、不要な場合は「しない」に設定してください。

設備保護洗浄する / しない

はじめの設定
「する」



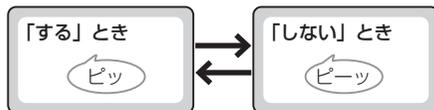
の場合

- 1 **止** (STOP) 約 10 秒以上押す
→ リモコンのランプが全点滅します。

- 2 ノズルそうじ 入/切 と 設定モード 入/切 を同時に押す

押すたびに切り替わる

設備保護洗浄を



- 3 **止** (STOP) 押す

設定完了



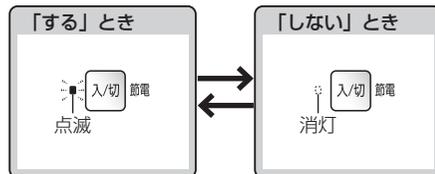
の場合

- 1 **止** (STOP) 約 10 秒以上押す
→ 本体操作部のランプが全点滅します。

- 2 入/切 ノズルそうじ と 水勢 - を同時に押す

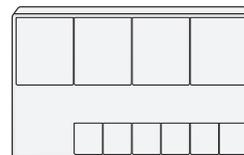
押すたびに切り替わる

設備保護洗浄を



- 3 **止** (STOP) 押す

設定完了



の場合

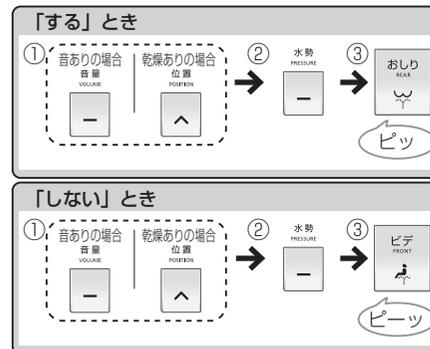
ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

- 1 **止** (STOP) 5 回押す
→ 「ピッ」という電子音が鳴り、<設定モード>に入ります。

<設定モード>中は、20 秒以内に次のボタンを押してください。

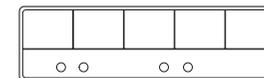
- 2 設定したい項目を選び、①②③の順に押す

設備保護洗浄を



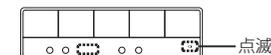
設定完了

設定完了できなかった場合は、もう一度手順①からやり直してください。設定を途中でやめるときは、「止」ボタンを押してください。



の場合

- 1 **止** (STOP) と 水勢 + を同時に押す
リモコンランプが点灯・点滅するまで同時に約 10 秒押す



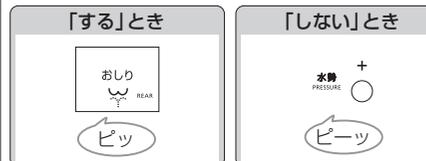
設定モードに入ったときのみランプが表示されます。(透過式) 

- 2 おしり (REAR) を押す

- 3 設定したい項目を選びボタンを押す



- 4 設定したい項目を選びボタンを押す



設定完了

MEMO

MEMO